

あなたは“本当の”東京を知っていますか？

東京にある浜離宮恩賜庭園を歩けば、都会の喧騒を忘れさせる特別なひとときを味わえます。

春の桜や秋の紅葉が彩る中、歴史ある茶屋や池のほとりを散策していると、ここが世界有数の大都市の中心であることを忘れてしまいそうです。浜離宮をはじめ、東京西部の駒沢オリンピック公園や神代植物公園なども含む、東京都内の名だたる緑地の多くは、公益財団法人東京都公園協会（TMPA）が年間を通じて維持管理を行っています。

矢岡俊樹理事長は、都会の緑地のルーツを、東京都公園協会が設立された 1954 年頃の戦後期にさかのぼると語ります。「私たちは庭園を可能な限り最良の状態で守ることに加え、その歴史や樹木そのものの魅力をお見せすることも大切にしています。石や池、橋のひとつひとつにも、江戸時代から受け継がれてきた意味が込められているのです」と矢岡氏。「また、夜間に庭園や桜、紅葉をライトアップすることで夜間の体験を創出し、より多くの方に夜の庭園を楽しんでいただけるような工夫も重ねています。」

TMPA は現在、東京全域で 65 の施設を管理しています。2024 年には、その内の公園や庭園だけで 6000 万人以上が訪れたことから、その規模や日々の維持管理の重要性がうかがえます。TMPA は保全だけでなく、東京の緑あふれる未来づくりにも力を注いでいます。「東京全域で都市緑化を推進する公共事業や啓発活動、人材育成にも取り組んでいます。自然と触れ合えるイベントも多数開催し、都市の緑の大切さを発信しています」と矢岡理事長は話します。

TMPA は、来園者が歴史ある庭園の昔の風景を見ることができるアプリや、庭園や公園の新たな魅力を発信する「デジタル版スタンプラリー」など、リアルとデジタルを融合させた取り組みも展開しています。また、隅田川沿いでは、人気の寺社エリアである浅草からエンターテイメントスポットのお台場までを結ぶ水上バスの運航も、TMPA の重要な役割の一つです。「水上バスは、災害時の重要な交通手段にもなります」と矢岡理事長。「東京は、よく知られた有名な観光スポットだけでなく、何度訪れても新しい魅力が発見できる場所です。」

東京の四季折々の花とイベント

梅：冬の終わりに上品な香りとともに咲き始める梅は、「春告草」とも呼ばれます。

おすすめスポット：小石川後楽園、芝公園、浜離宮恩賜庭園、向島百花園

イベント：梅まつり 2 月 7 日～ 3 月 1 日（小石川後楽園、向島百花園）、2 月 10 日～ 3 月 1 日（神代植物公園）

桜：世界的に有名なサクラ。多くの人が花見を楽しみに訪れます。

おすすめスポット：代々木公園、小金井公園、六義園

イベント：夜桜ライトアップ 3 月中旬～下旬（六義園）

春バラ：バラは年に 2 度咲きますが、春の花は特に大きく鮮やか。4 月から 6 月が見頃です。

おすすめスポット：旧古河庭園、神代植物公園、代々木公園

イベント：バラフェスティバル（旧古河庭園、神代植物公園）



文京区の六義園では、毎年恒例の夜桜ライトアップイベントが開催されます。



浜離宮恩賜庭園は、都心で心安らぐひとときを過ごせるスポットです。

※日付は 2026 年の開催予定日



詳細は QR コードから
公益財団法人 東京都公園協会
Tokyo Metropolitan Park Association